

# 暮らしの？

ハテナ

kurashi no hatena

Sさん夫婦は結婚を機に家探しを始めた。「長く安心して住みたい」と、鉄筋コンクリート住宅を、新築、中古問わず探したという。そこで出会ったのが、落ち着いた雰囲気、住環境が整った北摂に建っていたこの家だった。

「妻も私も、古いデザインやアン

## 念願の鉄筋住宅をレトロに

ティークの家具が好きだったので、築30年以上のこの家の感じがしっくりきました」とご主人は話す。たとえば、玄関にある「内倒し窓」は船舶を想起させる風情でお気に入り。阪神大震災を経てもクラック一つ入っていないかった堅固さも頼もしかった。

リノベーションで最も費用をかけたのは、リビングにヘリンボーン(杉綾)貼りしたローズウッドフロアリング。「部屋の隅の隙間を埋めた細かい木の形を見ると、職人の仕事のすばさを感じます」と満足そうだ。一方で「お金も際限なく使えるわけではないので、セルフリノベーション

したのはところもあります」と話す。

料理好きの夫妻は広めのキッチンが欲しいと、1階の和室をまるごとキッチンにリノベーションした。機能性と清潔さを重視してステンレスの業務用厨房器具も入れた。水回りには、少しレトロな感じを出すため

## リノベしました



### 吹田市 築38年

和室をリノベーションしたキッチン。業務用厨房器具や、レトロな雰囲気のタイルでこだわりの空間に

に長方形型のタイルをあしらった。そのすっきりとした空間に合う白色の壁は、夫婦2人で色を塗った。これがセルフリノベーション。「下地を含めて4回塗って、天井のところが一番苦労しましたね」と楽しそうに話す。

今回のリノベーションでは2階部分に手を入れていないため、「壁を抜いてワンフロアにしたりできたら。それは老後の楽しみです」と話す。

長く住んで、どんどん好きになる家になる。

昭和52年築の鉄筋コンクリート造の連棟式住宅。施工面積は118平方メートル。

Arts&Crafts 大阪市西京町堀1の13の24、☎06-6443-1350

「リノベーション(リノベ)」とは、既存の建物を大規模改修し、価値を高めること